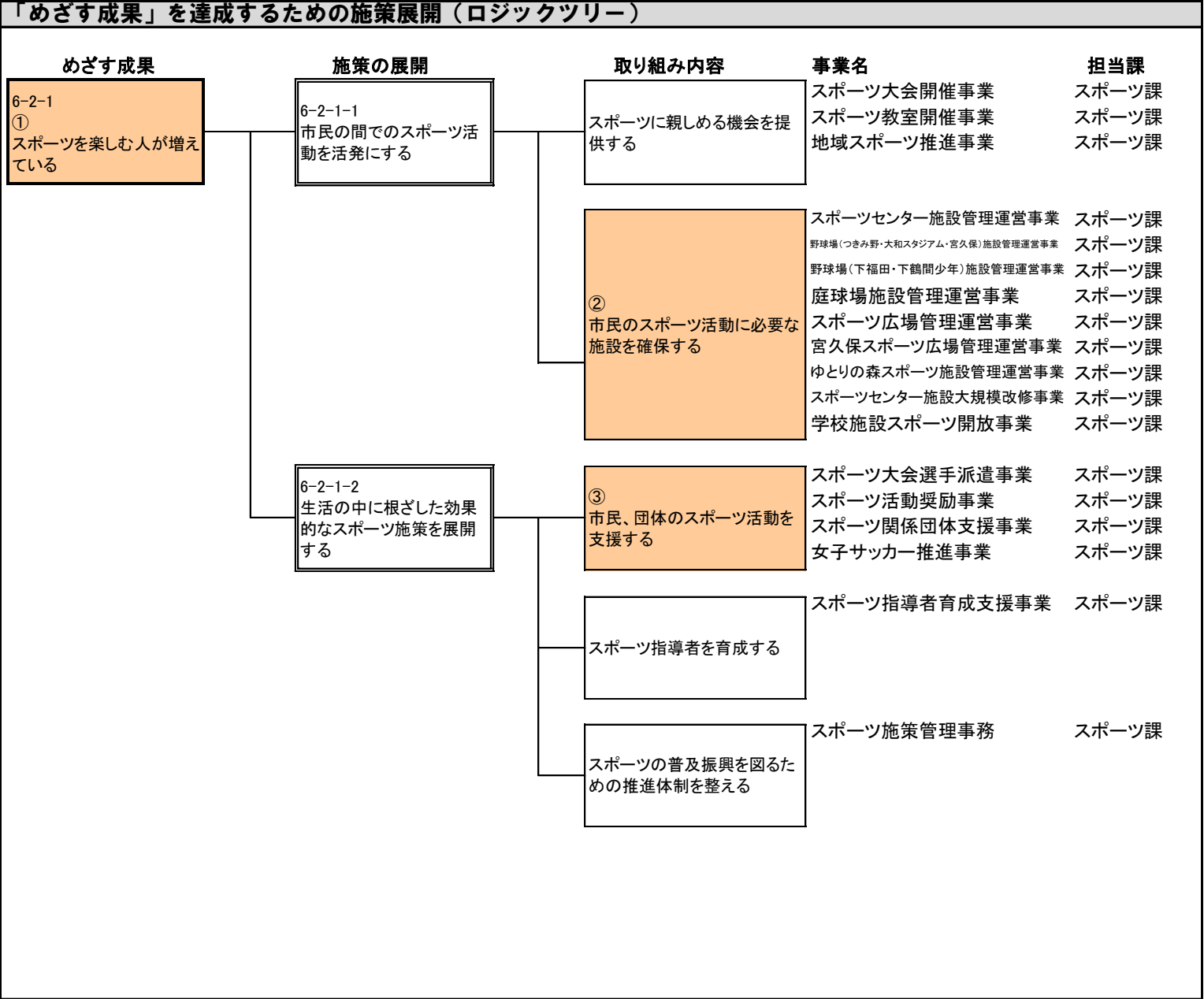


平成27年度「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート		
6-2-1 スポーツを楽しむ人が増えている		
総合計画体系	健康領域・基本目標	社会の健康・豊かな心を育むまち
	個別目標	地域のスポーツ活動を推進する
	めざす成果	スポーツを楽しむ人が増えている 気軽にスポーツを楽しむことのできる環境が整い、スポーツ活動に参加している人が増えています。



成果を計る主な指標	指標の名称	前期基本計画			後期基本計画		
		計画策定時 (H20)	最終目標値 (H25)	実績値 (H25)	実績値 (H26)	中間目標値 (H28)	最終目標値 (H30)
	① 日常的にスポーツを楽しんでいる市民の割合	33.2%	35.0%	33.8%		37.1%	37.5%
	② 市民1人あたりの公共スポーツ施設年間利用回数	6.12回	6.30回	5.59回	5.88回	6.74回	6.85回
	③ 総合型地域スポーツクラブの設置数			0団体	0団体	1団体	2団体

所 管 部	文化スポーツ部	
平成26年度の取り組み内容	【市民の間でのスポーツ活動を活発にする】 ・大和スタジアムリニューアル記念試合として、プロ野球イースタンリーグ教育リーグを開催し、2,094名の入場者がありました。 ・大和ゆとりの森に新たなスポーツ施設として、テニスコート8面、中規模多目的スポーツ広場4面を整備し、供用開始しました。 ・「女子サッカーのまち」の実現のため、トップリーグであるなでしこリーグを開催したほか、日本女子代表OG（なでしこレジェンド）によるイベントを実施しました（延べ1,974名）。 ・将来、トップで活躍する女子サッカー選手を目指す小中学生たちの競技力向上と、機会の場を提供することを目的に「大和なでしこカップ」を実施しました（20チーム、延べ1,740名）。 【生活の中に根ざした効果的なスポーツ施策を展開する】 ・かながわ駅伝に大和市代表選手11名、役員30名を派遣しました。 ・日本サッカー協会に委託し、「JFAこころのプロジェクト夢の教室」を市内の全小学校5年生、中学校2年生を対象に実施しました（108回、延べ3,760名）。	
構成事業に対する考え方（事業の量及び実施手法）	・大和市スポーツ推進計画に掲げる施策を推進するためには、スポーツ施設の適正な維持管理や機能向上を図る改修工事などが必要です。 ・スポーツ施設を管理する指定管理者とさらなる連携を図り、市民が競技スポーツに取り組む動機づけとなるスポーツ観戦の機会や地域において生涯スポーツに触れる機会を増やしていきます。 ・女子サッカーの推進を本市スポーツ施策の中心に掲げ、関連する事業を多数実施することにより、地域スポーツを活性化させるとともに、スポーツ施策全般にかかわる底上げを目指します。 ・本市女子サッカーにおけるトップチームである「大和シルフィード」が活躍することで、市民に勇気と力を与えていくとともに、本市のシティセールスに寄与していくことから、なでしこリーグへの昇格を目指したさらなる支援策が必要になります。 ・本市における総合型地域スポーツクラブの創設に向けて、地域での活動内容やその展開方法等について、その準備段階から協議を進め、軌道に乗るまでの期間については活動に対する支援を行う必要があります。 ・スポーツを「支える」人材を育成するため、オリンピック等のスポーツイベントにおけるボランティアの育成について検討する必要があります。	
今後の展開方針	注）例年どおりの事業展開を予定している事務事業については、特段の記載をしません。	
新規事業の立案	総合型地域スポーツクラブが創設され、地域での活動が本格的に行われることに伴い、市における支援の方法について検討を進めます。	（該当する事務事業） 地域スポーツ推進事業
既存事業の拡充	ホームタウンチームの大和シルフィードが、なでしこリーグに進出した際には、本市のシティセールスが一層充実すると考えられるため、その支援策について検討を進めます。	（該当する事務事業） 女子サッカー推進事業
事業の廃止・縮減		（該当する事務事業）
事業の効率化	スポーツ大会の開催やスポーツ団体の事務局機能などについて委託化を検討します。	（該当する事務事業） スポーツ大会開催事業
その他見直し	空調設備改修や競技場改修などに伴い、施設レベルの向上が図られたこと及び維持管理経費の増が見込まれることから、受益者負担の考えに沿って、施設利用料金の見直しを検討します。	（該当する事務事業） スポーツセンター管理運営事業